

Title	日本語版 幼少期性役割行動尺度(J-PSAI)の作成 : Pre-School Activities Inventoryの邦訳
Sub Title	
Author	佐々木, 掌子(Sasaki, Shoko)
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2006
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 : 社会学心理学教育学 : 人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.62 (2006.) ,p.174- 176
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	平成17年度[慶應義塾大学]大学院高度化推進研究費助成金報告
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000062-0174

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

日本語版 幼少期性役割行動尺度 (J-PSAI) の作成

—Pre-School Activities Inventory の邦訳—

佐々木 掌子

目 的

典型的性役割を測定する際、国内ではしばしば、BSRI (Bem, 1974) や PAQ (Spence, Helmreich, & Stapp, 1975) に代表されるような形容(動)詞による性役割パーソナリティ尺度が使用されてきた。しかし、Bem や Spence など作成者本人が記述しているように、こうしたパーソナリティ尺度は抽象度が高いため、性役割に関する個人差が実際にあるのかどうかを判断することができないという問題点がある (Bem, 1981; Spence & Buckner, 1995)。

そこで、具体的な典型的性役割行動を測定する尺度が必要であると考えられるため、これを指標としたイギリスの尺度を邦訳し、日本語版の典型的性役割行動尺度を作成することを目的とした。

方 法

作成者 Golombok (1993) より翻訳許可をもらい“Pre-School Activities Inventory: PSAI”を日本語訳した。この尺度を“日本語版幼少期性役割尺度 (Japanese Pre-School Activities Inventory: J-PSAI)”とする。訳に関してはバックトランスレーションを行い、その後 Golombok 本人よりチェックを受けた (Appendix 参照)。

そして、J-PSAI について回答を求めた。対象は、学生 369 名 (女性 147 名、男性 122 名) であり、幼少期を回想して回答してもらった。実施方法は集団式、回答は 5 件法である。

PSAI の得点算出法は、以下である。得点を 50 点前後にして数値を見やすくするために、まず全 24 項目の平均値と標準偏差を算出する。その後、男児 12 項目の合計点から女児 12 項目の合計点を引き、男性・女性それぞれ 10 に近い標準偏差にするため、標準偏差で 10 を割った値を掛けて仮の T 得点に変換をする。最後に、50 に近い平均値にするため 50 から平均値を引いた値を足す。PSAI の得点は高ければ高いほど男児的性役割行動への志向があることを示し、低ければ低いほど女児役割行動を示すことになる。そこで、J-PSAI もそれになった。

したがって、本研究における得点算出の公式は、 $47.11 + 1.1 \times (\text{男児項目得点の合計} - \text{女児項目得点の合計})$ となる。

結 果

Item-Total 相関を算出した結果を Table 1 に示す。なお本尺度は一次元尺度として扱っている。男女込みの IT 相関では、いくつかの項目で負の相関が見られた。男性のみ及び女性のみ相関では、低かった相関係数が若干上がる項目もあったものの、2 項目では完全に負の相関が見られた。

J-PSAI 得点については、平均値、標準偏差、最大値、最小値を男女別に表で示す (Table 2)。2 標準偏差分の男女差が認められた。

α 係数は、男児項目が $\alpha = .807$ 、女児項目が、 $\alpha = .885$ であり、十分な値が得られた。

Table 1 Item-scale correlation coefficients for all participants and for male and female separately

	All (N=369)	Male (N=122)	Female (N=147)
Part 1-1	0.01	0.33	0.11
Part 1-2	0.37	0.40	0.24
Part 1-3	0.14	0.38	0.04
Part 1-4	0.34	0.27	0.25
Part 1-5	-0.03	0.22	0.26
Part 1-6	-0.05	0.28	0.20
Part 1-7	0.45	0.42	0.39
Part 2-1	0.45	0.47	0.37
Part 2-2	0.34	0.36	0.08
Part 2-3	0.40	0.55	0.29
Part 2-4	-0.07	0.32	-0.01
Part 2-5	-0.02	0.35	-0.05
Part 2-6	0.42	0.43	0.32
Part 2-7	0.10	0.17	0.17
Part 2-8	0.21	0.21	0.27
Part 2-9	0.47	0.50	0.38
Part 2-10	0.02	0.26	0.24
Part 2-11	0.36	0.33	0.30
Part 3-1	0.15	0.22	0.15
Part 3-2	0.17	0.40	0.14
Part 3-3	-0.04	0.04	0.07
Part 3-4	-0.14	-0.16	-0.13
Part 3-5	0.38	0.40	0.20
Part 3-6	-0.09	-0.11	-0.10

Table 2 Means, standard deviations, maximum and minimum of J-PSAI scores for male and female

	Male	Female
<i>M</i>	67.74	40.29
<i>SD</i>	9.69	12.19
<i>Max</i>	94.25	73.15
<i>Mini</i>	38.15	10.45

考 察

本研究では、具体的な典型的性役割行動を測定するために、項目の検討とデータ収集・分析による予備的な調査を終えた。その結果、原版PSAIとほぼ近似の基礎統計量を得ることができたものの、IT 相関については、課題を残す結果となった。特に、男女込みで本尺度を扱うには、負の相関だった項目を落とすべきと思われる。

この問題点は、Golombok より注意を受けてもいる。PSAI は、幼児に対する親や保育士・幼稚園教諭などの他者評定による尺度であるため、回想的に回答すると信頼性が低まるという (Eメールによる私信)。今後は、この問題点を解決するため、実際の就学前の幼児を対象に尺度の信頼性を

検討する必要があるだろう。

また原版では、大規模な欧米国際比較調査が実施され、標準化がなされている。本尺度は、男女間の弁別を可能にする上に、同性別内あるいは両性別内での性役割志向バリエーションにも寄与するという特徴を持っている点で、使用範囲の広い尺度といえる。今後、J-PSAI の妥当性が確認されたあとは、標準化や国際比較など、用途の広がりが見込まれる。

文 献

- Bem, S. L. (1974). The measurement of psychological androgyny. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, 42, 155-162.
- Bem, S. L. (1981). Gender schema theory: A cognitive account of sex typing. *Psychological Review*, 88, 354-364.
- Golombok, S. & Rust, J. (1993). The Pre-School Activities Inventory: A standardized assessment of gender role in children. *Psychological Assessment*, 5, 131-136.
- Spence, J. T., Helmreich, R. L., & Stapp, J. (1975). Ratings of self and peers on sex role attitudes and their relation to self-esteem and conceptions of masculinity and femininity. *Journal of Personality and Social Psychology*, 32, 29-39.
- Spence, J. T. & Buckner, C. (1995). Masculinity and femininity: Defining and undefinable. In P. J. Kalbfleisch & M. J. Coby (Eds.) *Gender, Power, and communication in human relationships*, Hillsdale, NJ: Erlbaum, 105-138.

Appendix

以下は小学校に上がる前の毎日の活動についてのものです。5歳くらいの頃を思い出して、実際にしていても、してなくてもいいので、あなた自身が「したかったかどうか」の頻度をお答えください。回答は、1-まったくなくない、2-ほとんどない、3-ときどきある、4-よくある、5-いつも、のうちから、最もあてはまるものを選んでください。

ま た く な か っ た	ほ と ん ど な か っ た	と き ど き あ っ た	よ く あ っ た	い つ も あ っ た
---------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	-----------------------	----------------------------

Part 1: 以下のおもちゃでどれくらい遊びたかったですか。

- | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|
| 1. ピストル（あるいはモノをピストルなどに見立てて） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. アクセサリー類 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 工具セット | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 人形、人形の服、人形用の乳母車 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 電車、車、飛行機など | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 剣や刀（あるいはモノを剣や刀などに見立てて） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. おままごとセット | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Part 2: 以下の活動をどれくらいしたかったですか。

- | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1. おままごとをする（掃除や料理など） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 女の子と遊ぶ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 女性キャラクターのごっこ遊びをする（お姫様ごっこなど） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 男性的な職業のごっこ遊びをする（兵士など） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. なぐりあいをする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 家族の人（親など）のまねをして遊ぶ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. スポーツやボールゲームをする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 登る（フェンスや木やジャングルジムなど） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 遊びの中で赤ちゃんの面倒を見る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 実際の車や電車や飛行機に興味を示す | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 女の子らしい服を着る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Part 3: 以下の特徴はありましたか。

- | | | | | | |
|-----------------------|---|---|---|---|---|
| 1. 新しい環境を探して試すのが好きである | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 荒っぽい遊びを楽しむ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. ヘビやクモ、昆虫などに興味を示す | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 泥だらけになるようなことは避ける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. かわいらしいものを好む | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 危ないことは避ける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |